

中期経営計画第6フェーズ

神 田 外 語 大 学

はじめに

現在、わたしたちを取り巻く環境は急速かつ確実に変わってきています。たとえば、これまでの脅威（大学全般に対する信頼の揺らぎ、18歳人口の減少に伴う市場縮小・競争激化、グローバル化の浸透、テクノロジーの発展）に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会構造に劇的な変化が起きました。このような状況において、新しい世界 / 社会が大学に求めるものとは何でしょうか。

中期経営計画第6フェーズでは、神田外語大学が「これからの社会、そして世界に必要とされる大学」へ生まれ変わるために、新しい時代を逞しく生きるために必要な知恵や経験、Critical Thinking（批判的思考力）を効果的に教授・提供・涵養できる環境を整備するとともに、多様化する学生のニーズを汲み取り、個々の特性・能力に応じたきめ細かい教育・サービスを継続して提供できる体制を構築したいと考えています。

これらの改革を一体となって進めていくためには、教員と職員が問題意識を共有し、一枚岩となってお互いを協力・励まし合える組織風土の醸成や、意識改革は欠かせません。その拠り所となるものは「学生の成功（Students' Success）」であると考えています。大学を構成するすべての教職員が学生の成功と大学の発展を願い、そのために何ができるのかを考え、点検・改善、そして新領域への挑戦を続け、学生とともに成長することが望まれています。

上記を踏まえ、中期経営計画第6フェーズのスローガンを「One Team for Our Students' Success」、副題を「～学生一人ひとりに寄り添った成功支援とより良い教育に向けた財務体質の強化～」としました。一人ひとりの学生を成功に導くためには、これまでの教育や体制を振り返り、カリキュラム上必要な科目等を一層充実させ、教育目的や学生のニーズに合わない科目等は改善・廃止を図ることで財務体質を強化し、新領域への挑戦も推進しなければなりません。これらのサイクルをOne Teamとなって習慣化することで、各々の学生の成功とともに社会、そして世界から必要とされる大学を目指していきます。

概要

（1）建学の理念：「言葉は世界をつなぐ平和の礎」

（2）目指すべき大学像：「これからの社会、そして世界に必要とされる大学へ」

（3）スローガン：「One Team for Our Students' Success～学生一人ひとりに寄り添った成功支援とより良い教育に向けた財務体質の強化～」

（4）構成：「教育」と「財務」の観点を踏まえた11領域（大項目）と6つの強化軸※を設定

※「財務」「点検」「創造」「教職学協働」「グローバル」「DX」を指し

、 11 領域で重点的に強化すべき項目

(5) 期間：2022年4月1日～2028年3月31日の6年間

11 領域と到達目標

1．教育改革＝教育の充実・強化

新しい時代を逞しく生きるために必要な知恵・経験を効果的に教授するための教育システムを構築し、必要な教育改革に取り組みます。これによって、学生の成功を後押し、「これからの社会、そして世界で必要とされる大学」の基盤づくりを目指します。具体的には、(1) 外国語学部カリキュラム改定 (2) 次代を見据えたカリキュラムの編成・教育手法、初年次教育及びキャリア教育の開発 (3) 教育目的に応じた柔軟な学年暦の策定などの諸課題を検討します。また、将来にわたって学生に選ばれる魅力ある大学になるため、上記と並行して新学部・新学科・専攻の設置等を検討し、その実現に努めます。

2．グローバル戦略～グローバル・スタンダードを実感する機会の充実～

次代を見据えて学内で異文化を日常化できるような、多様な学生であふれる魅力あるグローバル・キャンパスを実現します。

3．ガバナンス改革及び組織・運営基盤の強化

学長をリーダーとして、中期経営計画第6フェーズを成功に導くための意思決定の迅速化(ガバナンス改革)とともに各取組の遂行に必要な情報共有や協働ができる組織体制・文化を作り上げ、同計画を達成するための組織・経営基盤を強化します。具体的には、(1) 遺漏なき業務遂行の継続と改革・改善の推進に必要な組織、人員体制及び明確なルールの確立、(2) DXを活用した業務の合理化・効率化、(3) 質の高い教学・事務の継続・改善に資する施設設備の維持・改善に努めます。

4．教育の質の保証・向上

多様な背景を持つ学生の取り込みが、大学における多様な学習環境を形成する上で求められています。それを可能かつ維持するためには、教育の質の保証・向上が前提条件となります。具体的には、ファカルティ・ディベロップメント(FD)やデータ(IR)を活用した学部・大学院の教学マネジメント体制を確立し、教育の質を点検・改善する正のサイクルを回し続け、大学教育における日々の運動として習慣化に努めます。

5．研究活動の充実と教育への還元

「研究推進計画」を策定し、同計画をもとに研究助成制度のさらなる改善や研究所の役割の見直し等を行なうことで、本学の研究力の強化を図ります。またその研究を教育や社会に還元するための仕組みを構築します。

6．学修支援のさらなる充実～神田外語大学でしかできない学修支援とその環境整備～

多様な背景を持つ学生が、入学前から入学後の正課カリキュラムを含め、学習において大きく躓くことなく前に進み、退学することなく自立学習者として卒業できるよう

に、学生目線で求められるサポートを組み合わせた戦略的な教育支援を目指します。あわせて、学部や他の附置機関等所属教員との協働体制の構築やカリキュラムとの連動性を踏まえながらより効果的な教育、学習環境整備を図ります。

7．学生支援のさらなる充実～神田外語大学でしかできない学生支援とその環境整備
多様な背景を持つ学生（学習者）が退学することなく卒業できるような学生支援体制を構築するとともに、学生が自己の成長を実感し、学生生活をより豊かにできる課外活動支援の強化や研修プログラムの開発に取り組みます。

8．キャリア支援（卒業生を含む）のさらなる充実～神田外語大学でしかできない学生支援とその環境整備～

学生が卒業後のキャリアを見据え、入学から卒業までの学生生活を充実して送ることが出来るように、ディプロマ・ポリシー（DP）を踏まえた課内・課外におけるキャリア教育を強化・充実させるとともに、学生の専門、また変化の激しい現在の社会環境を的確に捉えた上できめ細かい就職支援を図り、「学生の成功」を後押しします。また、実社会との接続を意識し、卒業生のキャリアアップとネットワークの構築さらには卒業生による学生支援を促すための仕組みづくりについても取り組みます。

9．募集活動のさらなる強化

入学後のStudents' Success実現には、学生募集の段階からエンゲージメント向上が必須です。学ぶ意欲の高い入学者を安定的に確保するため、潜在層との継続したコミュニケーション量の拡大、入試改革や広報施策の最適化、基盤となるデジタルマーケティングを強化します。また入学前～卒業後の一環した満足度向上のため、学生募集部門のみならず、教職学協働での取組を強化します。

10．高大接続・産官学連携の強化

戦略的な高大接続による学生募集への寄与、産官学連携強化による学生と社会との接点機会の拡充、ならびに二ーズの高いリカレント教育の開発にともなう事業収入の増加を図り、大学のブランド力・ステークホルダーの認知度強化に貢献します。

11．財務基盤のさらなる安定化

中期経営計画第6フェーズを成功に導くために収入源の安定的な確保とともに、支出構造の改善に取り組みます。